

夕日八月十



定価 一部金五銭 一月金五拾銭 郵費五銭
 廣告料 五銭 十二字 一円 五拾銭
 日曜 祭日の翌日 休刊
 発行所 川俣町 川俣新報社
 電話 六三〇番
 印刷所 川俣町 印刷株式会社

子供の韻律的なる本性

小林金次郎

これは私の住む福島地方の子供の唄なのであるが、これと同様の唄は全国の子供らの生活には必ずある。風が欲しいなら、風が吹き出すまで待つと何處かで待つておれば、管である。螢をつかまへたりや、こつそり足音を忍ばせて螢の方へ近づいてゆけば、管である。

それなのに、どうしてもかう唄はずにはゐられぬ子供の心理なのである。又子供が幼い子供を背負はされて遊んでゐる、子供が泣かなくとも身体を同じ調子で揺り動かしてゐる。又子供がしくしく泣き出したり、又自らも肩の邊りが

ノット

人絹製の衣類などに縷を當てる時あまりこすると本質以上に仇光が出て却つて見苦しくなる。

むずむずして來るとき、ホーラヤレ。ホーラヤレ。

とゆすぶりながら唄とも言葉ともつかぬものをお節をつけて唄ふ。

又これは私が師範学校の教生時代に五年の女生徒と一緒に城山といふ福島市から二里ばかり西にある一寸小高い丘まで遠足したことがあつたが、その城山の急坂を登つてゆくとき、子供らはあえぎ／＼ながらもこんなことを調子づけて唄つたのである。

【朝】味噌汁・豆腐 小付 やきのり
 【晝】つくね焼き・いわし ねぎ生姜 酢どり
 【晩】あんかけ大根 そぼろ海老 五月やき御飯

お山はこわいぞ ろつこんしやうじやう お山はこわいぞ ろつこんしやうじやう

「お山」とは一般にいふ山であり、こわいぞと言ふのは「くたびれる」とか「疲れた」と言ふ意味である。

「ろつこんしやうじやう」とは佛語による「六根清淨」を意味することもある。後で解つたが、それにしてもこれらの子供達がよくこんなにむづかしい言葉を知つてゐたものだし、又かうした坂を登るときにその記憶から必然的に口誦したものだと思つた程である。

これ等の短い言葉は言語



雑草 双葉海 大きな石の割目にさへ青々と雑草がはびこつてゐる

その草でさへ しつかりと根を張り 自分をさへへてゐる 今朝は朝陽をいつばいに 輝やいてゐるのに この自分分は……

馬の目をみつめてゐると なみだがにじんできると 虚げられ虚げられし者の よくもそれをかみ殺して 生きて來た者の 悲壯な涙！ 自分自身の生活を持たない者の

そして生をつながん爲の一切 今反反抗の力さへも失たれど老いばれゆく者の 自己哀憐の泪——

各婦人雑誌推賞 S式高速編物器
 編物講習會 自十月二十一日(五日) 至同二十五日(五日) 五日間
 會費 一圓
 講師 大日本編物研究會 松井富美子先生
 會場 平田町(電話一四番) ハシモトヤ糸店階上
 上品な副業として収入を望まれる 受講生には編物の御世話致します

磐城セメント會社特約店
 久益屋商店
 磐城平町五丁目 電話九番九九番
 □良品廉賣に勝る商略なし
 □確實敏捷は久益の生命なり

中野齒科醫院
 院長 日本齒科醫學士 中野 惠次
 日本齒科醫學士 西川 誠
 一、齒科一般 保存科補綴科 繼續架
 一、工科 齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科
 一、口腔外科 一、レントゲン科
 平田町(松月堂向ヒ) 電話五〇九番

石炭 コークス 炭
 玉炭
 阿部石炭商店
 電話三七番

今年も例年通り
 かまぼこ製造
 相はじめました何卒御用命の程！
 平町一丁目
 電話一四一番

高久病院
 院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科
 平田町 電話五一三番

ニクシは子ニ
 車体優美御用命は親切 迅速をモットーとす
 洗練されたサービスは完全に 皆様の使用を果します
 電話四六〇番

發動機船二つ

沖合遠く流失す

今朝小名濱一帯に時化模様 秋刀魚満載の磐城丸が救護

昨日来の嵐模様は石城各濱では強力警戒に努めてゐるが小名濱港に繋留中の同町野崎丈之助、立花雄七二氏所有の發動機船二隻は今朝激浪に揺られて沖合遠く流失したので折柄さんま四五萬尾を漁獲して入港中の指導船磐城丸は水揚も待たずそのまゝ兩船の後を追ひ正午茨城縣平潟沖合で兩船を發見牽引して今夕刻歸港の筈であるが流失兩船には幸ひ乗組員がなかつたので人命には支障なかつた

慰安會の出席者に

鐵瓶を贈る

平高萩兩隣間及び赤井小川郷各驛の従業員並に家族等三千名の本年度慰安會は來る十八日より廿日迄三日間平町聚樂館に於いて開かれ東京歌舞伎坂東太右衛門一行の觀劇を行ふが參會者には辨當、壽司等を振舞ふ外一名毎に記念品として鐵瓶を贈ると

いま低氣壓が

通過の最中

こゝ二三日中は

快晴の望み薄し

こゝ數日來平町地方は秋雨降り續いて急激に氣温低下し早くも荒寥たる冬の訪れを思はせ何時果つともなき「太陽のない日」にさなきだに凶作に脅やかさるゝ農家は收穫期を控へて更に深刻なる悲惨の色濃きものがあり、各學校の運動會シーズンに雨に祟られて延々と

なり「恵まれた運動會」に兒童達の落膽も哀れである……昨今の天候打診を小名濱測候所にさげば
七日八丈島沖南西海上に現れた七百四十八ミリの低氣壓は漸次東北東にその進路をとつて移動しつつあり目下石城地方はこの低氣壓通過の中心圏内

木賃宿の戀を延長

兄の搜索願

伊達郡富城村大字富澤字舟木農庄三郎妹森マヌ(四九)は昨年六月以來平町七丁目藤正吉氏方に同居してゐたが去る五月頃から幾度手紙を出しても返事がないのに怪しんだ實家では佐藤氏に問合せたところ返事がないのも道理、同人は去る二月初旬佐藤氏方を出奔した足でそのまゝ長橋町及び内郷小島方面の木賃宿を轉々する内若い燕を見付けこの木賃宿の戀を家庭に延長すべく同月十五日栃木縣方面に駆落同棲してゐること判明した驚いた實家では今八日平署に搜索方を願出た

風水害の生んだ

美談を生徒達に

津田校長の訓話

平第二小學校津田校長は來る十三日の戌申證書御下賜の近畿地方に於ける風水害の生んだ教育美談校舎倒壊に際し沈着傷き乍らも級友二十餘名を救つた地恩加島小學校尋常科第四學年級長谷山徳幸(一)君及び天皇陛下萬歳を叫びつゝ死んだ同鶴橋小學校尋常科第四學年生田村久子(一)さんの行爲を夫々生徒に傳へ教訓を與ふる事になつた

風水害義金

日平町役場に提出された關西風水害義金は左の如く合計八十七圓であつた
五十九圓 三丁目 三十五圓 長橋町 三圓 平館

草野義捐映畫

村在郷軍人分會は來る十日午後六時より同村小學校講堂に於て關西地方風水害義捐金募集の映畫會を催すと

出奔女房の電報

仙臺市長町字北町一〇洞口長治郎内縁の妻渡邊せん(三三)は四日宮城郡生ヶ濱村の生家に行くと稱して出たまゝ、行方不明となり家人が百方搜索中去る六日世話す

明日のラジオ

九
報 豫 氣 天
今晩も明日も北
西の風曇勝ち

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 「この頃よく見える星」水野良平
- 後六、二五 基礎英語講座
- (一) 岡倉由三郎
- ◎ 農村青年の夕
- 後七、三〇 講演「青年の意氣」加藤咄堂外
- 善
- 後八、二〇 詩吟 山田積
- 後八、二五 浪花節「鹽原多助」東家樂遊
- 後八、五十五 分歌謡曲 伊藤久男
- 後九、〇五 吹奏樂 海軍々樂隊
- 後九、三〇 時報 ニュー
- ス 氣象通報 番組豫告

明日の部

- 前六、三〇 基礎講座
- (一) 岡本修助
- 前七、〇〇 聖典講義(二)
- 文學博士 飯島忠夫
- 前九、一〇 料理献立 朝倉長吉
- 前一一、三〇 婦人美術講座(八)工藝一東京美術學校教授 津田信夫
- 後〇、〇五 浪花節「吉田御殿」壽々木米若
- 後二、〇〇 家庭講座「視力保存デー」と眼み衛生」醫學博士 阿部哲男
- 後六、〇〇 子供の時間
- 童話劇「餅をかいたお地蔵さん」J.O.A.K.唱歌隊
- 後六、二五 英語講座(二)の七)久野朗郎
- 後七、二〇 講演「軍縮會議と其後に來る物」海軍大佐 武富邦茂
- 後八、〇〇 獨唱と管絃樂 平井美奈子 仙臺管絃樂團
- 後八、三〇 俚謠 佐藤榮水外
- 後八、五〇 京城より朝鮮民謡と豊年踊吳太石外大勢
- 後九、〇〇 箏曲 祇王山室千代子
- ▽ 玉川村大字島字一四農鈴木一夫(三三)に對する私文書偽造行使、窃盜事件の第三回公判は去る六日午後一時半より平區才判所に於いて香西判事係り清田檢事立會眞木、門傳、武田各辯護士列席の下に開廷證人として告發人岸利三郎、義兄鈴木繁夫兩氏の訊問を行つたが更に檢事は被告の實母鈴木マツさんを證人として訊問方申請三時過ぎ閉廷した次回公判期日は來る十三日午前九時

裁判所たより

▽ 小名濱字竹町二四魚行商小野定次郎(四九)は賭博開張中田邊末松に借金を申込み拒絶されたのを憤慨傍らにあつた煙草盆を以て毆打全治約一週間の傷害を與へ賭博傷害罪として罰金三十圓
△ 平町鎌田一三疊職橋本傳吉(七九)は去る二月二十四日三坂村根本チヨさん外一名より無検査の木炭二十四俵を買受けた事發覺木炭検査規則違反として罰金十圓
△ 双葉郡長塚村大字長塚字杉下二農石川義茂(四九)は妹スミ子が生んだ子を自分の三男として届出た事發覺公正證書原本不實記載行使罪として罰金二十圓に本日各平區才判所に於て略式命令を以て處分された

平町人事

- 回 出 生
▽ 新川町三三 高野芳太郎 氏長女トヨ子さん
- 回 婚 姻
△ 鎌田町六金次氏長男五十五 嵐新一氏(二八)水戸市五軒町小林まつさん(二四)
- 回 死 亡
△ 田町六五 佐竹菊雄氏妻 ミサ子さん(二三)

浄念の比喩

（藤城上院主著）

田邊南龍（作）
山本英春（書）

一五三：

不思議な因縁で

「畏まりました」

権八墨染の法衣を着て箆

の笠を被り鐵棒を持つて託

鉢に出で、人の門に立つて

は經を讀み一文、二文の喜

捨を得る

（我ながら變れば變るもの

だ）

と苦笑をしてをります。

一眼は見へないやうに作つ

てあるが天性の美男子、殊

に愛嬌がありすから人に

好かれ他の者が託鉢に出た

時よりも多くの布施を貰つ

て歸る、其の内に追々經文

も覚え、檀家などへも讀經

に參りますが、誠に受けが

宜く、今度も哲立さんに來

て貰ひませうと態々名指し

て來るといふ鹽梅、浮氣な

後家さんなどは、殊に哲立

を呼んで御馳走をした上で

變な目附きなどをする者も

ある、権八も江戸へ出て來

たのは小紫に遇ひ長兵衛に

遇ひ、又目黒の瑞川に遇つ

て之までの禮などを述べて

潔く名乗つて出て處刑を受

ける考へてありましたが、

さて斯うして無事におさらば

るとなると現世におさらば

するといふ事は誰しも出來

ないものといへませし、ッ

イ一日々々と延ばし早いも

ので彼れこれ一年ばかり圓
性寺に暮して終ひました。
小紫に遇ひたいな、今頃
はどうして居るかと思はば
かりは朝夕忘れる暇はあり
ません、折には吉原へ入つ
て見やうかと思ふが入つ



小癖な女がございませう、和
尚に面會をして
「誠に御迷惑でございませ
うが明日手前の志す佛の忌
日に相當いたしますのでご
さいませうが、何卒御弟子様
で結構でございますから手
前共へお出で下さいまして
御同向をお願い致します」
と云ふ頼み
「ア、宜しい、承知いたし
ました、お宅ほどの邊で：
あゝ動坂のそれ程近い處で
あるから必ず御同向に差出
ます」

「大きに御苦勞、そこでは
只今頼みに參つたのがな、
之は當寺の別段檀家といふ
譯ではないが明日志す佛の
忌日に當るからお弟子を遣
はしてもらひたいと申して
來なされた、御苦勞ぢやが
お前明日行つてやつて下さ
らぬか」
「畏まりましたございま
す」
「處は動坂の是々申す處」
と淨念が話をする、権八
の哲立翌日其の女の家へ回
向に參りました處、意外に
も其の佛といふのが権八に
ゆかりのあるもので夫が爲
に権八が又罪を重ねなければ
ならぬやうに相成ります
権八の哲立は師匠の淨念
の言ひ付けて、その翌日、
動坂の髮結のおなかつといふ
女の處へ法事に參る事にな
り、近所へ行つて尋ねると
直ぐに知れた
「エ、御免下さいまし」
「ハイ、何誰」
「手前は田端の圓性寺から
參りましたが、御法事があ
るといふのは此方様でござ
いますか」

小學用（長ズボン付）
A 90.00
B 1.10.00
特製品 2.35.00
中學生用
特製6號 3.50.00
御注文（特上） 6.80.00
ふかや洋服店 平 三
電 308

黒小倉通學服賣出

一望秋色
さあ御召替です
かかやには皆様の御満
足の得る品が何時も澤
山揃へて御座います

魂の入った 機關銃印の自轉車

日章旗の如く輝く特長
一、全部鋼鐵、特種壓搾製
二、自働注油、防水防塵、装置
三、ヘッド及びホークのスプリ
ング作動
斯界に比なき數多の特長を有するが故に耐久力は普
通車の五倍以上。而かも悪路でも振動を感ぜず。そ
の輕快さは本車のみ有する特長で製作者の苦心の存
する所でありませう。
機關銃印の自轉車（宣傳中） 五十八圓
戰車の如く頑強だと御評判を賜りま
した
フタバ式超重量用ツヤカー（宣傳中） 廿五圓
永年修繕費のかゝらぬ
兩車の御利用を切に御願ひ申上げます
フタバ商會
平・新川町・月見橋際

吸入用酸素純度 99%

度量衡
モノサシ
マ ス
ハカリ
器量計
體溫計
寒暖計
秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
關内藥局
電話四〇番
寫真材料一式販賣致シマス

婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 立番彌一
平町新川町十九
入院隨意 病室完備 木村病院
電話六四番

米國製刺皮膚病良藥

レメドール
子宮あたゝめぐすり
宮温湯
丹波博士創製セキドメ
たんばあめ
靈藥ムテキ
平町古銀治町一〇
阿康藥舖
縣社ノ下 電話四〇番

阿康藥舖

平町古銀治町一〇
縣社ノ下 電話四〇番